

ネクストふくい観光ビジョンの概要

1 策定の趣旨

- 北陸新幹線の福井・敦賀開業、中部縦貫自動車道の県内区間整備などにより、観光・ビジネス両面でアクセスが向上した福井県への注目度は格段に高まっており、観光需要拡大の好機を迎えています。
- 一方で、人口減少、少子高齢化の進展により、将来的な国内旅行者の減少が見込まれる中、観光が将来にわたって持続可能な産業として発展していくためには、サービスの高付加価値化や県内宿泊の促進により旅行者の消費額を高め、「稼ぐ観光」の一層の推進が重要です。
- また、日本の豊かな自然、文化、食を求めて訪日する外国人旅行者は全国的に急増しており、本県においても、その潮流をしっかりと掴んでいく必要があります。
- 本ビジョンは、行政や各種団体、事業者、県民それぞれの立場で、観光が地域の発展に果たす役割、観光客と相互の幸福に繋がる効果など、観光振興の重要性への理解を深め、共通認識のもと本県における観光の持続的発展に向けて取り組んでいく指針とするものです。

2 計画期間

令和7年度～令和11年度(5年間)

3 基本理念

しあわせ発掘ふくい ～知るたび、幸せになる旅～
Unearthing the Wonders of Fukui: Happiness in Every Discovery

ふくいを訪れるたび、知られざるふくいの魅力を発掘し、知るたび(度・旅)、幸せになる旅を旅行者に届けます。旅行者に選ばれることで県民の地域への愛着や誇り、豊かさを高め、観光を通じてふくいの生活文化と地域経済の活力を次世代につなげます。

4 目標設定

目標	現状値(令和5年)	目標値(令和11年)
(1)観光消費額(旅行者が観光地域内で消費した金額)※福井県観光客入込数【基本理念の実現に必要な最重要目標】	1,225億円	1,700億円
(2)観光客入込数(県内観光地域を訪れた旅行者の人数)※福井県観光客入込数	1,760万人	2,100万人
(3)宿泊者消費単価(宿泊旅行者1人が1度の旅行で消費した金額)※福井県観光客入込数	21,587円	27,000円
(4)県内宿泊者数(福井県内に宿泊した旅行者の人数)※観光庁宿泊旅行統計調査	324万人	450万人
(5)外国人宿泊者数(福井県内に宿泊した外国人旅行者の人数)※観光庁宿泊旅行統計調査	6.5万人	40万人

参考指標【基本理念の実現のため向上が必要と考える指標※1】	現状値(令和5年)
(1)来訪者満足度※福井県観光連盟アンケート	52%※2
(2)住民による地域推奨度※福井県観光連盟アンケート	45%※3

※1 定量的には評価・検証が明確化できない指標を参考指標として設定し、本ビジョンの目指す姿に向かって取り組みが進んでいるか、その効果を確認していく指標とする。

※2 令和6年1月調査 直近1年間に本県に旅行経験がある人のうち、7段階評価で上位2段階(大変満足、満足)を回答した人の割合

※3 令和6年1月調査「地域を県外の人に自信を持って勧められる」人の割合 この割合が高まることによって県民幸福度の向上に寄与することが期待できる。

5 戦略の体系

目指す姿1. 価値を高める

北陸新幹線敦賀開業等により、首都圏等からのアクセス性が向上したことを好機として、主要観光地を含むエリア間を「面」で捉え、地域のブランド力を磨き高めます。また、宿泊施設の充実等により滞在型観光を定着させ、旅行者の観光消費を促し、ふくいでの旅の価値を高めます。

(1) クオリティーと消費単価を高める

- ①「面」で楽しむ観光地づくり
- ②宿泊先として選ばれる観光地へ
- ③スポーツツーリズム・文化芸術観光の聖地に

(2) ブランド力に磨きをかける

- ①地域ブランドにストーリー性を
- ②MICE、教育旅行はふくい

目指す姿2. 未来につなげる

観光投資で稼ぐことができる好循環を生み出すとともに、観光DXの活用により、労働環境の改善や業務の効率化など持続可能な観光地づくりを目指します。また、DMOの体制強化や観光人材の育成、再生型観光の強化などに取り組むことで、ふくいの生活文化と地域経済の活力を未来につなげます。

(3) 観光投資でさらに稼ぐ

- ①投資が投資を呼ぶ好循環を
- ②観光DXのさらなる推進

(4) 持続可能な観光地づくりを進める

- ①県内全域での持続的な発展に向けて
- ②持続可能な観光に実現に向けて再生型観光を強化
- ③観光を支える地域に根差した人づくり

目指す姿3. 世界に選ばれる

人口減少や少子高齢化が進む我が国においては、訪日外国人旅行者の誘客と交流人口の拡大が重要であり、国別等のターゲットに応じたプロモーションや体験型観光の造成、広域による周遊観光を進めるほか、富裕層の誘客により、世界に選ばれるふくいを目指します。

(5) 全国・世界に心惹かれる情報を届ける

- ①ターゲットに合わせた誘客プロモーションの展開
- ②インバウンドに刺さる情報・体験を

(6) インバウンド目録で攻める

- ①広域での周遊観光を
- ②富裕層を呼び込む
- ③インバウンドに快適な旅を

目指す姿4. みんなが幸せになる

県民、事業者、旅行者、それぞれが観光に当事者として関わることにより、みんなが幸せになることを目指します。地域への県民の愛着と誇りの醸成、経済効果の周知、事業者の生産性向上、質の高い体験による旅行者の再来訪促進などにより、みんなが幸せになることを目指します。

(7) 当事者として観光に関わる

- ①県民の幸せ
- ②事業者の幸せ
- ③旅行者の幸せ

ネクストふくい観光ビジョンの概要

目指す姿1. 価値を高める

戦略の柱	主な取組みの方向性	実施すべき主な施策(アクション)
(1)クオリティーと消費単価を高める	①「面」で楽しむ観光地づくり ・主要観光地を含むエリアとしての魅力向上、大小様々な「面」での観光地づくり ②宿泊先として選ばれる観光地へ ・来県目的となる多様かつ魅力的な宿泊施設の充実、県内に数多く立地する民宿の底上げや戦略的な魅力発信 ・国内外に顧客を持つホテルやオーベルジュなどの誘致 ③スポーツツーリズム・文化芸術観光の聖地に ・スポーツイベントの開催などによるスポーツツーリズムの機運醸成と誘客拡大	★広域エリアでの連携や施設間の観光ルート充実など「面」での観光地づくりを進める市町・団体への支援 ★選ばれるふくいの民宿を目指したおもてなし向上と情報発信 ★わかさいくろなど自然環境を活かしたスポーツツーリズムの推進 など  
(2)ブランド力に磨きをかける	①地域ブランドにストーリー性を ・食や歴史に関するイベント開催やブランド化などによる価値の向上と情報発信 ②MICE、教育旅行はふくい ・全国トップクラスの支援制度を活用したMICEや教育旅行の誘致	★地域の文化や歴史などのストーリーを語れる観光ガイドの育成 ★食のブランド力向上と旅行者への発信 ★日本遺産「御食国若狭と鯖街道」など歴史・文化を活用した誘客促進 ★学習と休暇を組み合わせたラーケーションを押し出したPR展開 など

目指す姿2. 未来につなげる

戦略の柱	主な取組みの方向性	実施すべき主な施策(アクション)
(3)観光投資でさらに稼ぐ	①投資が投資を呼ぶ好循環を ・成功事例の発信による事業者の投資意欲の増進、経営支援や投資相談体制の充実 ・地域への観光投資の受入れを牽引するリーダーの確保や事業者支援 ②観光DXのさらなる推進 ・観光データ分析システム「FTAS」の機能充実、旅行者や事業者による活用促進 ・翻訳機能や自動応答などの接客ツール導入による事業者の省力化・効率化と旅行者の利便性向上	★宿泊施設のリニューアルなど成功事例の展開による投資意欲の増進 ★商業施設の誘致や賑わい創出につながる店舗改修などの支援 ★ビッグデータやAIを活用した観光データ分析や事業者へのアドバイスの自動配信 ★外国人旅行者からのアンケート収集の仕組みの構築と観光動向の見える化 など 
(4)持続可能な観光地づくりを進める	①県内全域での持続的な発展に向けて ・DMOによる観光地マネジメントの推進、通年で集客が見込める観光コンテンツ造成 ・持続的な観光施策実施に必要な安定した財源の検討 ②持続可能な観光に実現に向けて再生型観光を強化 ・地域における行事や農業に参加できる旅行商品の造成 ・旅行者のお祭りなどへの参加による地域活性化や、暮らしの体験による満足度向上 ③観光を支える、地域に根差した人づくり ・地域の観光を戦略的に牽引するリーダーや現場を支えるプレイヤーの発掘・育成	★DMOを中心とした持続可能な観光地マネジメントの推進 ★安定的な観光財源の確保に向けた宿泊税等の導入検討 ★地域のお祭りなどの行事や農業、自然を活かしたアクティビティなどを体験できる新たなコンテンツの造成 ★観光アカデミーの充実などによる地域のリーダーやプレーヤーの育成と確保 ★有料のローカルガイドの役割を担うプロフェッショナルな人材の育成 など

ネクストふくい観光ビジョンの概要

目指す姿3. 世界に選ばれる

戦略の柱	主な取組みの方向性	実施すべき主な施策(アクション)
(5)全国・世界へ 心惹かれる情報を 届ける	①ターゲットに合わせた誘客プロモーションの展開 ・大型イベントの開催などに合わせた情報発信や誘客プロモーションの実施 ・国内外で話題となるイベントの開催や近隣エリアと連携した誘客強化 ②インバウンドに刺さる情報・体験を ・個人旅行者をターゲットに外国人旅行者目線での情報発信による認知度向上 ・外国人旅行者の宿泊につながる体験コンテンツの充実および販売促進	★大阪・関西万博などを契機とした誘客プロモーションの実施 ★中部縦貫自動車道の県内全線開通に向けた誘客キャンペーンの実施 ★オンライン旅行会社(OTA)と連携した個人旅行者への売込み ★海外の展示会出展や海外ニーズを取り込んだ商品開発による伝統工芸品の新たなファン獲得など  中部縦貫自動車道の県内一部開通
(6)インバウンド 目線で攻める	①広域での周遊観光を ・近隣府県の自治体やDMO、交通機関などと連携した広域での誘客プロモーション ・中部縦貫自動車道を活用した広域観光ルートの周知および人気の定番化 ②富裕層を呼び込む ・富裕層の誘客にチャレンジする事業者の商品造成や海外の専門旅行会社への商品販売を伴走支援 ・ZENや越前打刃物など、唯一無二の観光資源の磨き上げと誘客強化 ③インバウンドに快適な旅を ・最新のAI技術などの活用による受入環境の高度化 ・事業者のインバウンドに対する意識向上や対応強化	★JRと連携した首都圏や関西圏からの誘客プロモーション ★富裕層向け観光コンテンツの開発・販売体制の整備 ★欧米富裕層向け旅行会社への売り込み ★AIや遠隔通訳、チャットボットなどの最新技術を活用した多言語案内の充実 など  伝統工芸品を活かした誘客  免税カウンターの導入支援

目指す姿4. みんなが幸せになる

戦略の柱	主な取組みの方向性	実施すべき主な施策(アクション)
(7)当事者として 観光に関わる	①県民の幸せ ・地域活性化や観光誘客を図る県民主体の活動を後押し ・県民の地域への愛着と誇りを高め、観光に自ら関わる機運を醸成 ②事業者の幸せ ・「ちょい足し応援」などにより観光を活性化させる事業者のチャレンジを支援 ・観光が地域の重要な成長産業となるよう事業者間の連携や投資を幅広く後押し ③旅行者の幸せ ・旅行者のニーズに合わせた体験の造成による満足度の向上と再来訪の促進	★文化芸術を活用した県民主体の活動への支援、小中学校でのふるさと教育や高校での観光教育の推進 ★事業者間連携による体験コンテンツや土産物などの開発と販売の促進 ★旅行者のニーズに合わせた福井にしかない体験型観光等の造成・周知など  旅行者による田植え体験  県内でのお祭りの様子